

小学生学習内容の変化

《早期準備・準備講座》

宮城県の公立入試は調査書が重要です

仙台市内では中学生は前期と後期に分かれた 2 学期制を採用しています。

中学校は、各学期で中間・期末と 2 回ずつテストを行い、その結果を中心に調査書に反映させます。

最終的にその調査書を中学 1 年生から中学 3 年生までの全てを取りまとめ、各高校提出用として完成させます【例年 3 年次の 12 月に取りまとめられます】

つまり、高校入試は中学入学時から始まっています。

特に小学 6 年生の皆さん！夢（高校・大学を見据え）をつかむ準備をしましょう！準備を小学校から（今から）行う理由は、①高校入試準備の為②中学校での勉強の仕方を小学生の内に学ぶため③中学校の勉強が嫌々ではなく、楽しんで学べるようにするためです（学習に余裕（自信）があると楽しいですし、意欲もあがります）④中学校は小学校内容が解っていることが前提であるため。

教科書（学習内容）が変わりました

教科書が全面改訂されました。

小学校の教科書も難易度は上がっています。

英語・数学→これまでの高校内容の一部を中学で学習することになります。

英語→学習する英単語の量が増え、また生活で使う英語学習に重点が置かれます。

数学・理科・社会→内容の拡充つまり内容が増えます。

国語→コミュニケーション力を問う問題（思考力・判断力・表現力）を重視。

それは↓

●使う為に学習（知識の為に知識（クイズ）ではなく）をするということです。

進級する 4 月までの時間で何をするか？どうすれば良いか？

この大きな変化の潮流を乗りこなす準備をしましょう。ご相談・ご体験お待ちしております。塾の現場から早めの準備を提案させていただきます。

ご相談は火曜～土曜の 14 時～22 時総合案内 022-722-8179